

ご当地 自慢

名古屋熱田の
史跡をご案内

50

名古屋事務所

名古屋熱田区と言えは熱田神宮があまりにも有名ですが、今回は、熱田神宮周辺の史跡をご案内します。

■断夫山古墳

熱田神宮から見て北西の位置に「断夫山古墳」があります。



ミニチュア断夫山古墳

この古墳は、東海地方最大の前方後円墳で、全長一五二メートル、前方部の幅一一六メートル、後円部の直径八〇メートル、前方部の高さ一六・二メートル、後円部の高さ一三・三メートルの規模を誇ります。

この古墳は、六世紀初め、尾張南部に勢力をもった尾張氏の首長の墓と考えられています。

また、言い伝えによれば日本武尊に

思いをいだいて死んだ宮貴媛の墓とも言われ、夫を断つ山から断夫山古墳と名前が付いたとのことです。

◆所在地

愛知県名

名古屋熱田区旗屋一―一〇―四五

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅

より徒歩八分

■白鳥古墳（白鳥御陵）

「断夫山古墳」より、より熱田神宮

に近い場所に「白鳥古墳（白鳥御陵）」があります。

この古墳も六世紀初めの築造の前方後円墳です。

全長は約七四メートルありますが、前方部、後円部の東側が削り取られているた



断夫山古墳の林相

め原型が損なわれています。

古くから日本武尊の御陵との説があり、日本武尊が白鳥となって熱田の宮に飛び来たり、降り立った地であることから、白鳥御陵と名付けられたと言われています。

◆所在地

愛知県名古屋熱田区白鳥一―二

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅

より徒歩六分



白鳥古墳（上 近景・下 遠景）



赤丸が断夫山古墳、青丸が白鳥古墳、緑丸が熱田白鳥の歴史館

出典：国土地理院ウェブサイト

NHKの名古屋を歩く番組でも紹介された「熱田台地」は、名古屋の大部分が海であった頃より陸地部であり、古くからの史跡も残っています。

「熱田白鳥の歴史館」（名古屋事務所内）と併せ、ブラブラしてみたいかがでしょうか。

■熱田白鳥の歴史館

◆所在地

愛知県名古屋熱田区熱田西町一―二〇

二〇

◆アクセス方法

名古屋市営地下鉄 名城線 神宮西駅より徒歩十五分